

公表

第 27 回技能グランプリ「建具」職種競技課題

次の競技時間、注意事項及び仕様、支給材料に従って課題図に示す親子屏風を作成しなさい。

1. 競技時間

標準時間 12 時間

打切時間 12 時間 30 分

2. 注意事項

- ① 図示されていないものは、慣例に従い工作する。
- ② 割り込み、すみ付けはすべて競技会場で行う。
- ③ 原寸図の型板は使用禁止とする。
- ④ 安全には十分配慮すること。競技時は作業服、帽子等を着用するものとし、木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）や電動手持ち工具の使用に当たっては、保護メガネを使用し、競技委員の指示に従い、安全に作業を行うこと。
- ⑤ 木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）の使用に関してはホゾ引きのみとし、溝加工は電動小穴カッター（溝きりカッター）又は電動工具トリマを使い製作する。工具用の刃物、治具などは持参すること。
- ⑥ 土居の製作には電動ジグソー、電動工具トリマを使用しても良い。
- ⑦ 障子の上桟、下桟のシャクリは電動トリマ又は電動小穴カッター（溝きりカッター）を使用しても良い。
- ⑧ 組み立てに、ハタ金を使わずに組み立てる事とする。
- ⑨ 手工具は指定の物以外持参しても良いが、使用にあたっては競技委員が判断する。

3. 仕様

- ① 機械作業のホゾ穴は、框周り・兜巾桟・土居とし、ホゾは框・上桟・中桟・下桟・兜巾桟まで、溝は引違障子の 9mm・嵌め殺し障子の 15mm・額の収まる 20mm・杉板の収まる小穴とする。
- ② 引違・嵌め殺し障子のホゾ穴、ホゾ及び組子、付子のホゾ穴、ホゾ、隅丸額の製作加工は、手加工とする。
- ③ 上桟 上桟と框の取り合いは箱留め接ぎとし、一方は腰型流れ胴付きとする。
なお、箱留め接ぎの加工にあたっては電動ドリルの使用も許可する。
- ④ 框 框と横桟の取り合いは、図示に従い、裏は面落ち胴付きとする。
- ⑤ 中桟 中桟と框の取り合いは、腰型とする。
- ⑥ 下桟 下桟と框の取り合いは、腰型流れ胴付きとする。
- ⑦ 土居 土居と框の取り合いは、打ち抜きホゾとし図示に従いクサビ締めとする。土居の両端のRの大きさは自由とする。
- ⑧ 束・桟 束と桟の取り合いは卍とし、兜巾面を取り、寸法に従い製作する。

- ⑨ 額・腰板 腰板に隅丸の額を取り付けて収め、留は三枚に組み釘止めにする。
なお腰板は、しゃくり出し等自由とする。
- ⑩ 縦束 図示に従い斜めに加工し、腰型流れ胴付きとする。
- ⑪ 横束 割り込み寸法は図に示す通りとする。
- ⑫ 兜巾桟 図示された寸法に従い、兜巾面を取り、製作する。
- ⑬ 組子・付子 図示された寸法に製作し、面はエテ面とし、大きさは自由とする。
- ⑭ 面 片面とし、図示されたものはすべてそれに従い製作する。
平几帳面は手加工とする。
- ⑮ 丁番 位置は自由とする。(ステンレス中厚76を用意する) 丁番の取付は競技終了後に行う。
- ⑯ その他 着剤・釘は、各自で持参する。
障子紙貼りは競技終了後に行う。

4. 支給材料

部材名	長さ	見付	見込	数	材質	備考
框	800	51	41	4	米ヒバ	
上桟	1050	51	41	1	//	
//	450	51	41	1	//	
上中桟	1050	39	41	1	//	腰板下中桟含む
//	450	39	41	1	//	
下中桟	1050	35	41	1	//	
//	450	35	41	1	//	
土居	1100	41	45	1	//	
//	500	41	45	1	//	
縦束	700	85	41	1	//	
兜巾	1050	29	33	2	//	縦・横含む
額	800	28	21	2	//	
障子框	450	26	16	6	//	
障子上桟・下桟	350	41	16	6	//	
腰板	460	270	9	1	杉	
組子	700	8	12	8	米ヒバ	割り付け用含む
付子	700	6	12	6	//	
ほぞ穴ゲージ	300	41	41	1	//	
丁番				2	SUS	中厚76丁番
クサビ						切り落とし使用